

協議事項45

市立定時制高校について

市立定時制高校について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和7年1月14日提出

神戸市教育委員会事務局
事務局長 高田 純

市立定時制高校について

1. 現状と課題

- ・勤労学生の減少に伴い、夜間定時制のニーズが減少傾向にある一方、不登校を経験した生徒など多様な学びのニーズへの対応が求められている。
- ・楠高校（湊川中学校と併置）校舎の老朽化及びほとんどの施設・設備を中学・高校が共用しており、両校の教育環境の改善が喫緊の課題となっている。

◎市立定時制高校の概要

学校名	所在地	学科	課程	定員	年限	併置状況
摩耶兵庫	中央区東川崎町 1-3-8	普通	昼間	80	4	単独
			夜間	80		
楠	兵庫区松本通 1-1-1	普通	夜間	80	4	湊川中学校
神戸工科	中央区脇浜町 1-4-70	工業	夜間	120	4	科学技術高校

◎市立定時制高校在籍生徒数(令和6年4月現在)

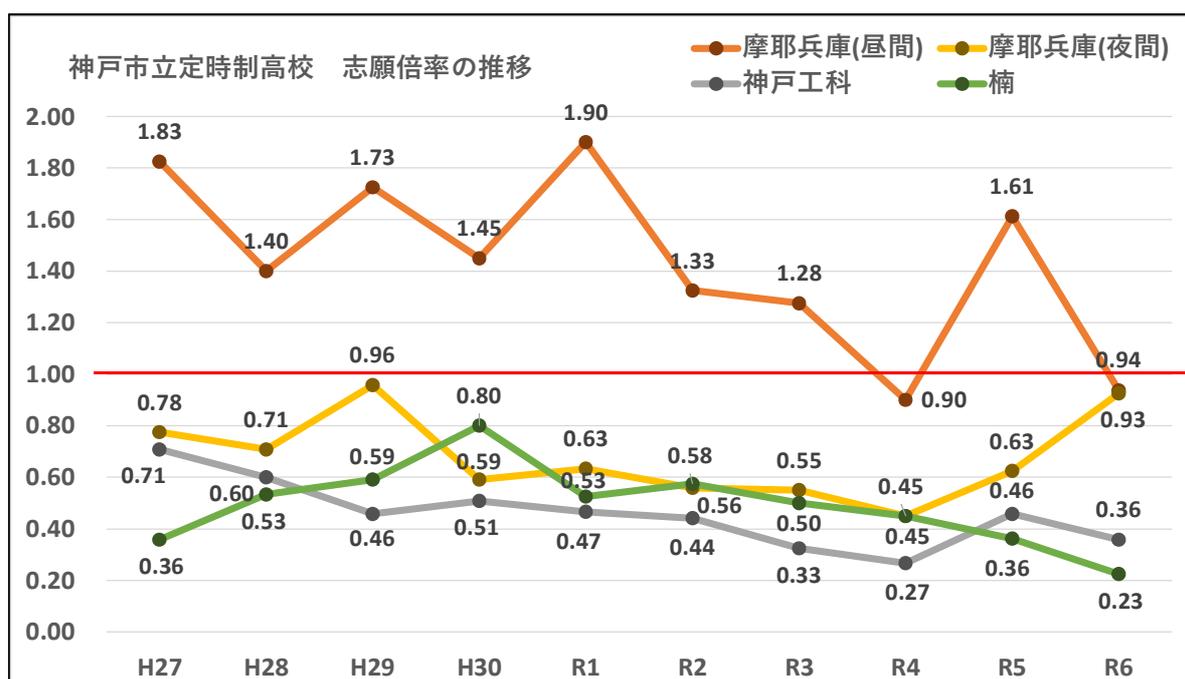
[単位:人]

学校名	学科	募集定員	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
摩耶兵庫	普通(昼間)	80	79	67	61	37	244
	普通(夜間)	80	82	56	39	60	237
楠	普通	80	24	26	24	33	107
神戸工科	工業技術	120	50	59	30	33	172

2. 志願倍率の推移

◎市立定時制高校における志願倍率の推移(平成27年度～令和6年度)

摩耶兵庫高校昼間部は、概ね1倍を超える倍率を得ているが、夜間定時制については3校ともに1倍を切る倍率で、定時制における日中の時間帯へのニーズが高い状況にある。



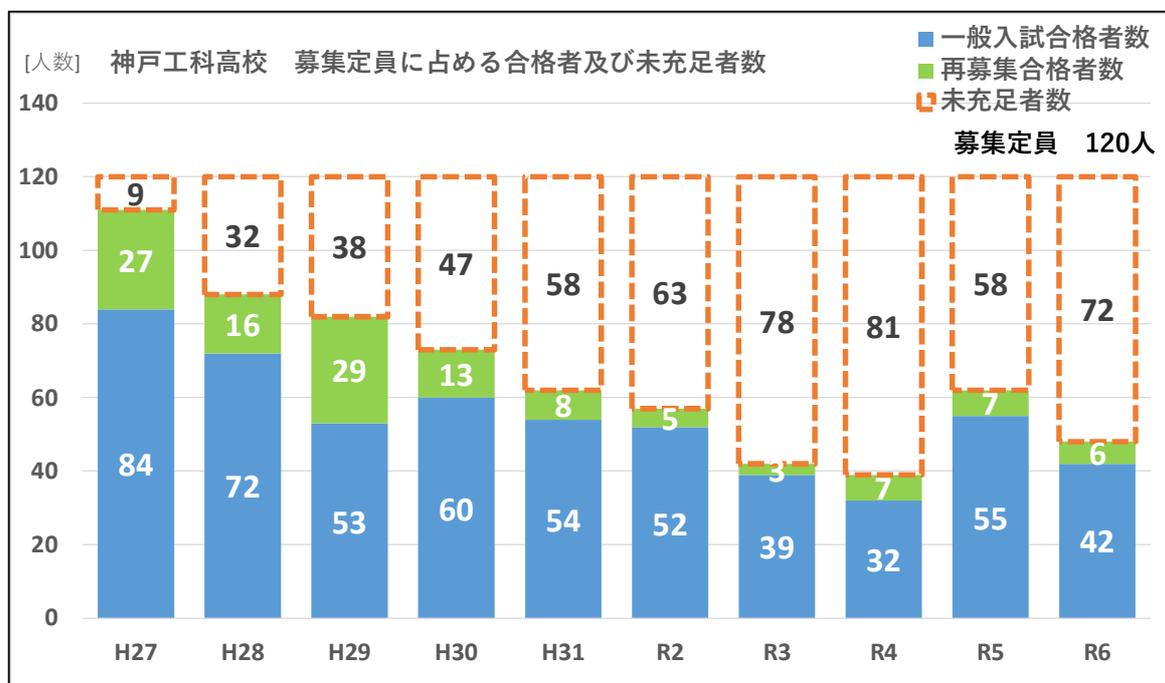
(出典：兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果より作成)

<市立高校の夜間に学ぶニーズ・動向>

◎市立定時制高校夜間部における募集定員に占める合格者数（再募集含む）及び未充足者数(平成 27 年度～令和 6 年度)

(1) 神戸工科高校（工業科）

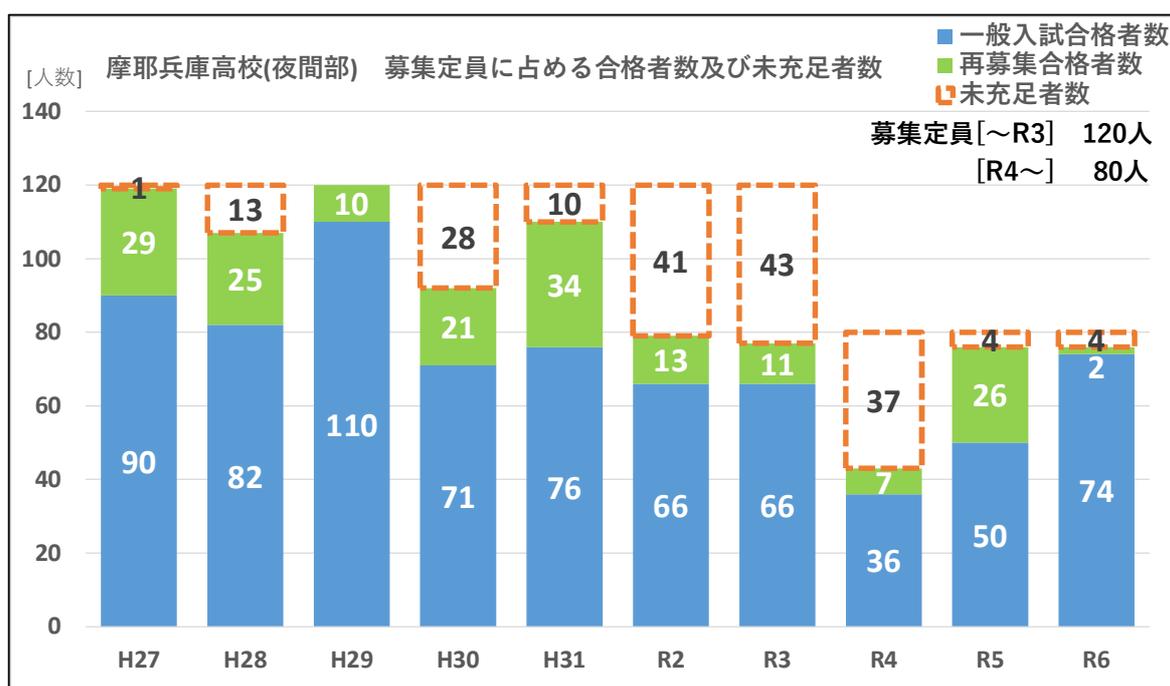
ここ数年、合格者数(志願者数)が減少を続けている。また、合格者数が定員数の半数を下回る年度が続いている状況にある。



(出典：兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果より作成)

(2) 摩耶兵庫高校（普通科）

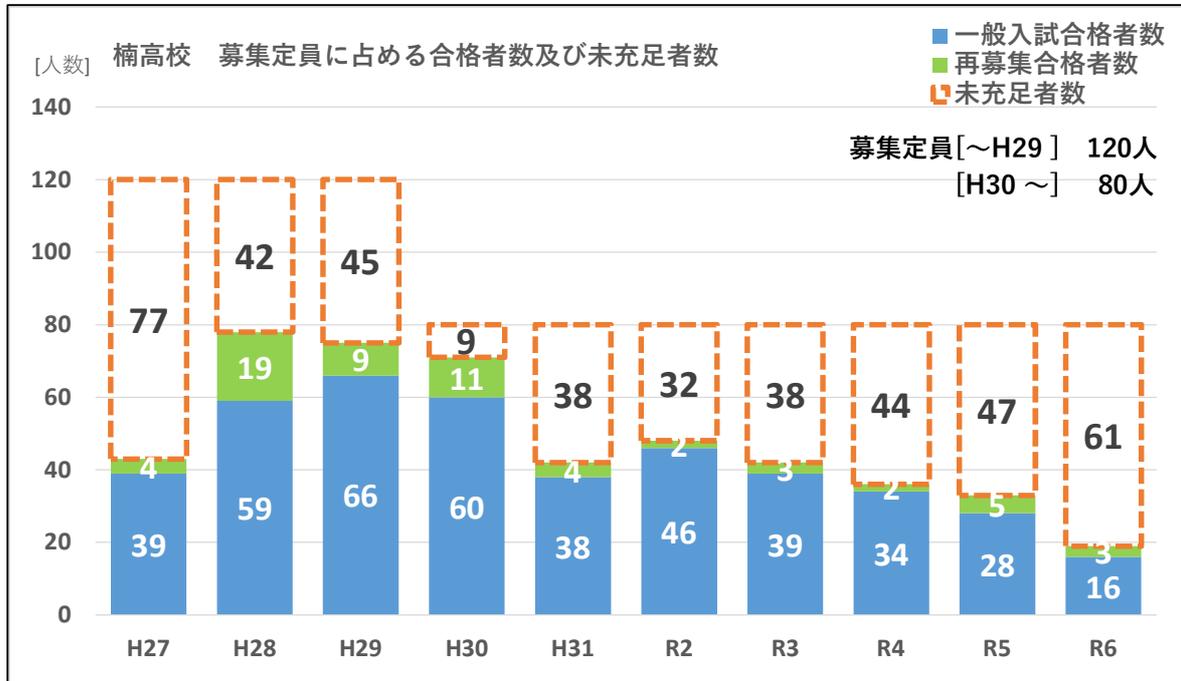
令和 4 年より夜間部の募集定員を 1 学級（40 人）減らしたが、過去 2 年間は他校の夜間部に比べて合格者数が多い状況にある。



(出典：兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果より作成)

(3) 楠高校（普通科）

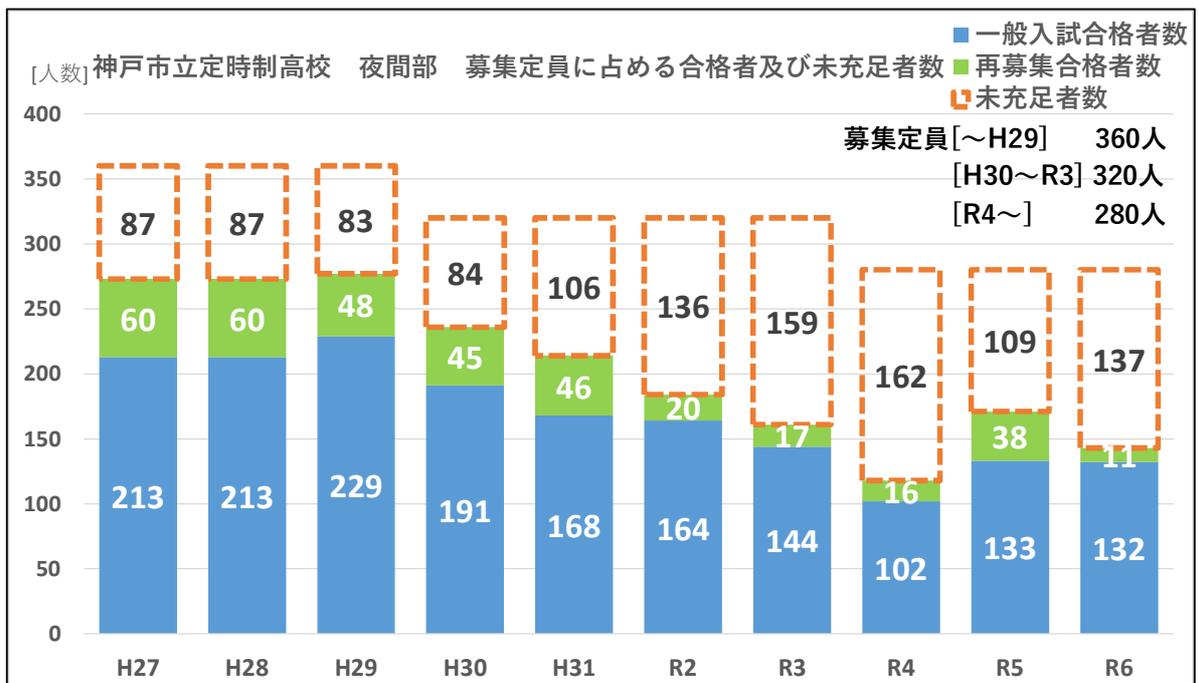
ここ数年、定員に対する合格者が半数を下回る年度が続いている。平成30年に募集定員を1学級（40人）減らしたが、ここ数年、未充足者数の値は定員減少前の値と同じ数値で推移している状況にある。



(出典：兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果より作成)

(4) 神戸市立定時制高校（3校合計）

市立3校の夜間部については、ここ数年、募集定員の半数程度の充足に留まっている。



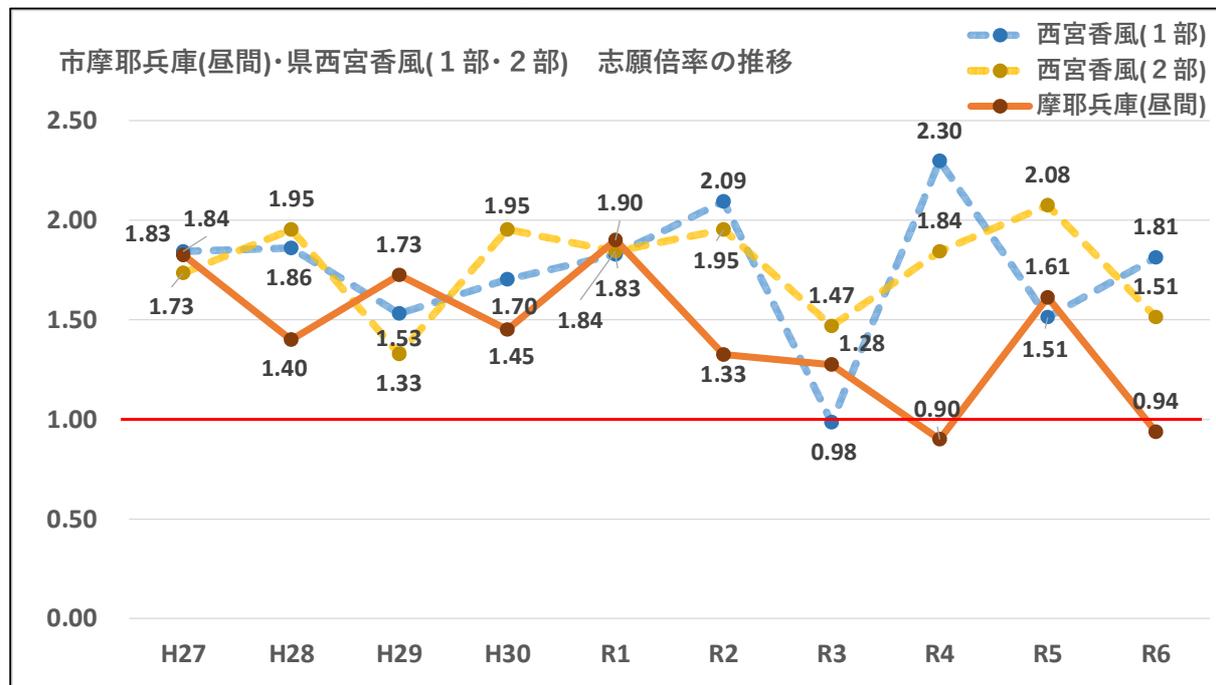
(出典：兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果より作成)

<日中の時間帯に学ぶニーズ・動向>

◎市立摩耶兵庫高校(昼間部)・県立西宮香風高校(1部・2部)志願倍率の推移

(平成27年度～令和6年度)

3つの時間帯(午前/8:45～、午後/13:10～、夜間/17:25～)で教育活動を展開する多部制の県立定時制高校においても、1部(午前)、2部(午後)ともに高い倍率を維持しており、日中の時間帯のニーズが高い状況にある。

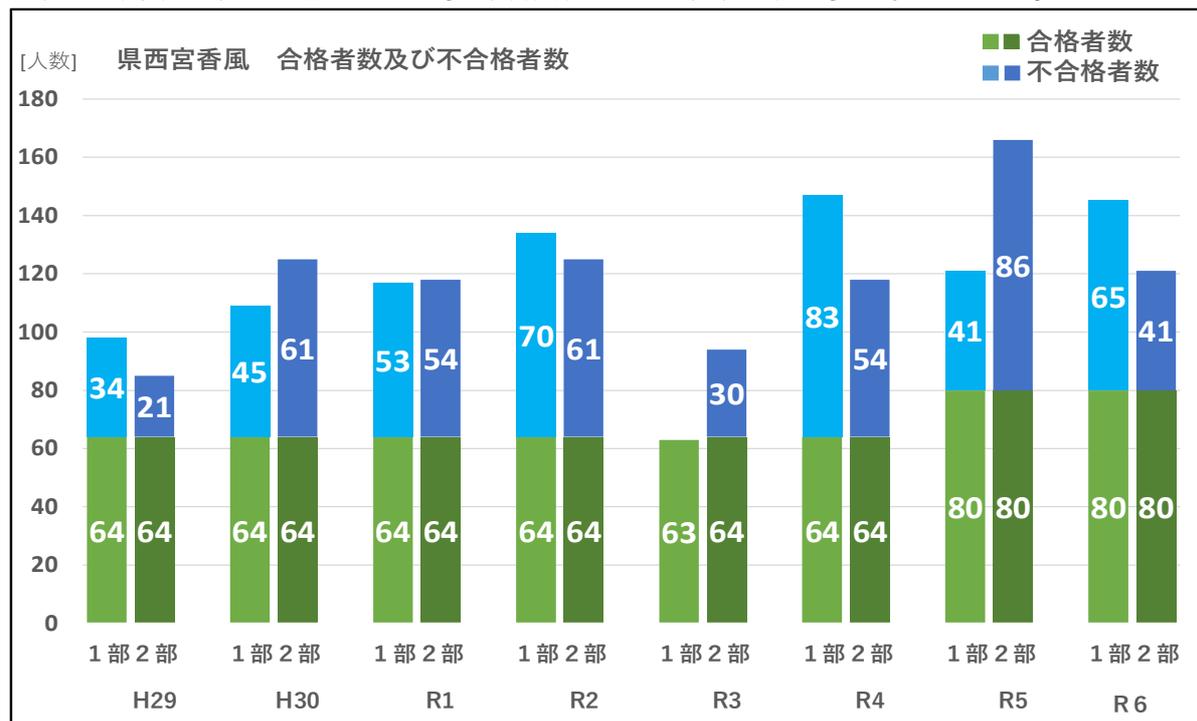


(出典：兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果より作成)

◎県立西宮香風高校(1部・2部) 合格者数及び不合格者数の推移

(平成29年度～令和6年度)

令和3年度の1部(午前)を除いて1部・2部ともに志願者が募集定員を超過しており、日中の時間帯に学ぶことができる多部制高校への進学希望者が多い状況にある。



(出典：兵庫県公立高等学校入学者選抜実施結果より作成)